

16ポート 10M/100M PoE スイッチングハブ



PLANEX COMMUNICATIONS INC.

使用前に必ずお読みください

■本書の目的

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しく お使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大 切に保管していただきますようお願いいたします。

■ご注意

- ・本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第3者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 通信内容や保持情報の漏洩、改竄、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることが あります。
- 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- ・本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

■著作権等

- 本書に関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。プラネックスコミュニケーションズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- 本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落 があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負 わないものとします。
- 本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社 までご連絡ください。
- 本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

●マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

●記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

User's Manual Version 1.0 No.PMN-03-12-TY-S-0808P

本製品を安全にご利用いただくために

<u>∧</u>警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りくだ さい。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障 などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれが あります。

■ 設置及び保管に関して

- 動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。
 範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。

本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障な どの原因となる恐れがあります。

- ・温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。 動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露 などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因と なる恐れがあります。
- ・本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。 本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、 故障などの原因となる恐れがあります。
- ・コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。
- コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、 感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあり ます。

・本製品を分解、改造しないでください。

本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作 動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。 ■ 取り扱いに関して

・高温に注意してください。

本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐 れがあります。

- 湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
 湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品を重ねて設置しないでください。

本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。 振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・静電気に注意してください。

本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分 を触れないなどの注意をしてください。

・落下や衝撃に注意してください。
 本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■ その他

・本製品は日本国内でご利用ください。

本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできま せん。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止 や制限がなされていないかご確認してください。

・ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。

本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的 に取得してください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧 が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際し データ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらか じめご了承ください。

目次

第1章 はじめに

1.	概要	·			·				·	•	•	•	• •	•	•		·	·	•	• •		·	•	•	• •	·	·	•	•	• •		·	•	•	• •		•		5
2.	特長	·	• •	·	·	•	• •	·	·	·	•	•	• •	•	·	·	·	·	•	• •	·	·	·	•	• •	·	·	·	•	• •	·	·	·	•	• •	·	•	• •	6
3.	梱包	内	容	70	Di	確	1	5	·	•	•	•	• •	•	•	•	·	·	•	• •		·	•	•	• •	·	·	•	•	• •		·	•	•	• •		•		7
4.	各部	ற	2	ſ₹	π																																		8

第2章 インストレーション

1.設置場所について ・・・・・・・	• • •	• •	• •	·	• •	·	• •	•	•	·	·	·	•		·	·12
2.本製品の設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		• •	• •	·			• •		•	•		•	•	• •	÷	·13
3.電源ケーブルの接続・・・・・・		• •	• •	·	• •	·	• •	•	•	·	·	•	•	• •	·	·16
4.ネットワーク機器と本製品の接続		• •	• •	·		·	• •		•	·	·	•	•	• •	·	·17

第3章 スイッチの管理

1.コンソールインターフェイスへの接続・・・・・・	• •	· · 19
2.シリアルケーブルの接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・	• •	· · 20
3.ターミナルユーティリティによる接続	• •	· · 21
4.設定メニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• •	· · 22

付録A	トラブルシューティング	
443D	/上+生	2

付録B	仕様					 	 • •	 • •	• •	 	• •	 · 34
ユーザー	-登録(こつし	۱ ۲			 	 	 		 		 · 35
弊社への	のお問い	、合相	っせい	こつ	いて	 	 	 		 		 · 36
質問表						 	 	 		 		 · 37

はじめに

- 概要

本製品はIEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX規格 に準拠したPoE対応スイッチングハブです。Autonegotiation及び AutoMDIに対応したRJ-45 STPポートを16ポート装備しています。 また、16ポートのうち8ポートはIEEE802.3af Power Over Ethernetの給電機能に対応しており、受電機能付きネットワーク デバイスにLANケーブル1本でデータと電源の接続がおこなえま す。

本製品はポートベース VLAN機能やプライオリティ制御に対応しており、柔軟にネットワーク構成に対応できます。

2 特長

- ●IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX規格に準拠 ●100BASE-TX/10BASE-T接続用のRJ-45 STPポートを16ポート 装備
- ●IEEE802.3af Power Over Ethernetに準拠した給電用ポートを8 ポート装備
- ●Autonegotiation機能により、転送速度 (100/10Mbps) および 転送モード (全二重/半二重) を自動認識可能
- ●AutoMDI機能によりケーブルの結線タイプ(ストレート、クロス) を自動認識
- ●スイッチング方式はストア&フォワード方式に対応
- ●MACアドレステーブルを装備し、最高8,000のMACアドレスを 自動学習可能
- ●100BASE-TX/10BASE-T用に256Kbyteのバッファを装備
- ●フローコントロール対応(全二重時IEEE802.3x、半二重時バッ クプレッシャー)
- ●ポートベース VLAN (最大16グループ) に対応
- ●IEEE802.1p準拠により2レベルのプライオリティ管理
- ●管理ターミナル接続用にRS-232Cコンソールポート (D-SUB9 ピン)を装備
- ●19インチラックマウントに対応

3 梱包内容の確認

パッケージには以下の付属品が含まれます。

●S-0808P本体
 ●シリアルケーブル
 ●ラックマウントキット(ネジつき)
 ●ゴム足
 ●電源ケーブル
 ●ユーザーズ・マニュアル CD-ROM
 ●保証書
 ●安全に関する説明書

付属品が足りない場合、または破損などがある場合は、お手数で すが販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4 各部の名称

■前面パネル



「ポート1~8」

PoE給電機能に対応した100BASE-TX/10BASE-Tツイストペアケ ーブル接続用のRJ-45ポートです。

「ポート9~16」

100BASE-TX/10BASE-Tツイストペアケーブル接続用のRJ-45ポートです。

「Power LED」

点灯(緑):本製品に電源が供給されてる状態です。消灯:本製品に電源が供給されてない状態です。

FANJ

点灯 (橙)	:本製品のFANに障害が発生している状態です。
消灯	:本製品のFANが正常に動作している状態です。

[Link/Act LED]

点灯 (緑)	:ポートのリンクが100Mbpsで確立している状態です。
点灯 (橙)	:ポートのリンクが10Mbpsで確立している状態です。
点滅	: ポートが通信している状態です。
消灯	: ポートがリンクしていない状態です。

FDX LEDJ

点灯(緑):ポートが全二重で確立している状態です。 消灯:ポートがリンクしているときは半二重でリンクしている状態です。

「PoE LED」

点灯(緑) : PoEによる給電をおこなっている状態です。 消灯 : 給電をおこなっていない状態です。

「RS-232Cコンソールポート」

コンピュータやターミナルを接続して本製品の設定管理をおこな うときに使用します。

■背面パネル



図1-2 背面パネル

「電源コネクタ」

電源ケーブルを接続します。



図1-3 裏面ステッカー

「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアル番号(Serial No)」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているもの と同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故 障時などにサポートを受ける場合にも必要になります。

第2章

インストレーション

本章では、本製品のインストール方法を説明します。本製品はデ スクトップなど平らな場所でそのままお使いいただけるほか、標 準の19インチラックにもマウントすることができます。本製品の インストールの概略は、以下の通りです。

- 1.製品をパッケージから取り出す。
- 2. 製品本体を設置する。
- 3.電源ケーブルを接続する。
- **4.**各端末、イーサネットハブおよびイーサネットスイッチと 接続する。

1 設置場所について

ハブを設置する際には必ず以下の点をお守りくださいますようお 願いします。

●湿気の多い場所に設置しないでください。

●チリやほこりの多い場所には設置しないでください。

- ●直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しないでくだ さい。
- ●内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間を空けてください。



本体側面や背面の通風口にほこりなどがたまると内部に熱がこもる原因とな ります。定期的に点検を行い、ほこりがたまっているようでしたら掃除機等 でほこりを取り除くようにしてください。

2 本製品の設置

本製品は、必ずデスクトップなどの平らな場所で使用してください。他のハブとカスケードして設置する必要がある場合は、19インチラックへの収納を推奨します。

1 注意

本マニュアルの製品仕様で定められている温度、湿度内で近くに熱源がな い場所に本製品を設置してください。また、本製品のファン取りつけ口に埃 などが堆積しない様に注意してください。充分な冷却ができない場合、誤動 作または、故障などの原因になります。

■デスクトップへの設置

Ⅰ.製品底面の4隅に、付属のゴム足をはり付けます。

2. 本製品を平らな場所に設置してください。



■ラックマウントへの取りつけ

以下の手順で本製品を19インチラックに取り付けてください。

- 【。本製品の底面に既にゴム足がつけてある場合は、すべてゴム 足を取り外してください。
- 製品側面にある、ラックマウント用のネジ穴を確認してください。
- 3. 付属のネジを使用して、ラックマウント用金具を製品側面に とりつけます。プラスのドライバをお使いください。
- 4.本製品をラック内に配置し、ラックマウント用金具上の穴と、 19インチラックのシャーシ上の穴とを合わせます。
- **5.**19インチラックに付属しているマウント用ネジを2つ用意し、 ラックマウント用金具に差し込んで固定してください。



3 電源ケーブルの接続

電源ケーブルの接続は、以下の方法で確実におこなってください。

- 【・製品背面の電源ケーブル接続部に、電源ケーブルを接続します。
- **2.** 電源ケーブルを、3芯タイプのプラグに対応した(アース対応) コンセントに接続します。
- 3. Power LEDが点灯していれば正常です。



本製品は起動時に自己診断テスト及び設定の読みこみをおこないます。その ため、電源投入から使用開始までの時間はしばらくかかります。



図2-3 電源ケーブル接続方法

4 ネットワーク機器と本製品の接続

以下の手順で本製品のスイッチポートとコンピュータのネットワー クアダプタまたはスイッチ等のネットワーク機器を通信速度に合わ せたケーブルを使用して接続してください。本製品上のポートは全 てAutoMDI/MDI-Xに対応しているためケーブルの結線タイプを自 動で認識することができます。接続先のポートの結線に依存するこ となくストレート又はクロスケーブルのどちらでも使用可能です。

- **Ⅰ**•ケーブルの一端を本製品のRJ-45 ポートに接続してください。
- もう一端をコンピュータまたはスイッチ等のネットワーク 機器のRJ-45 ポートに接続してください。
- 接続先のポートがAutonegotiationに対応している場合はポ ートの転送モードが自動的に設定されます。



図2-4 ネットワーク機器との接続

🛕 注意

10BASE-Tでの接続にはカテゴリ3以上、100BASE-TXの接続にはカテゴリ5 のUTPまたはSTPケーブルを使用してください。ケーブルの最大長は100m です。



PoE非対応の機器を接続した場合は給電機能は働きません。

スイッチの管理

1 コンソールインターフェイスへの接続

製品前面のシリアル・コンソールインターフェース (RS-232) ポート 経由でパソコンを接続し、本製品の設定をおこなうことができます。 当ポートはオス型DB-9コネクタを使ったDCE (データ通信機器) 接続 ポートです。コンソールポートを使用される場合は、ターミナルユー ティリティがインストールされているパソコンが必要となります。

※シリアルケーブルはクロスケーブルをご利用ください。

2 シリアルケーブルの接続

あらかじめ本製品の電源を投入し、管理用コンピューターと本製品 を製品付属シリアルケーブルで接続します。

(D-sub 9pin RS-232Cポートが無いコンピューターからは設定をお こなうことができませんので、ご注意ください)



図3-1 RS232Cケーブルとの接続

3 ターミナルユーティリティによる接続

シリアルケーブルで本製品と管理コンピュータを接続したら、ター ミナルユーティリティを起動します。ターミナルユーティリティの 設定は下記の設定にします。

■ターミナルユーティリティの設定

• 9,600bps

● パリティなし

●8ビット

- ●1ストップビット
- ハードウェアコントロール(フロー制御)なし
- Window Terminal Emulatorオプションは「なし (NO)」に 設定
- Terminal Preferences で Function, Arrow, Controlキーは すべて有効に設定

※COMポートの番号はご利用のコンピュータにより異なります。 上記設定値にて「OK」を選択します。接続が完了すると、管理画 面メインメニューを表示します。画面が切り替わらない場合には、 「Enter」キーか「Ctrl」キー+「R」キーを押します。

4 設定メニュー

ここでは機器の設定方法を説明します。基本的なキー操作は以下 のとおりです。

- ・設定項目の次候補を選択する場合は「Tab」を入力します。
 「Tab」で進んだ候補を一つ前に戻す場合は「Back Space」を入力します。
- ・選択した設定項目の内容を変更するときには「スペース」を入力 します。
- ・設定項目を選択する場合は「Enter」を入力します。
- ・変更した設定内容を反映させる場合は、階層移動をおこなう前 に「Ctrl」+「S」を入力します。
- ・情報の表示項目等で、画面を更新する場合は「Ctrl」+「R」を入 力します。
- ・階層移動をおこなっている状態にて、メインメニューに戻る場 合は「ESC」を入力します。

1.メインメニュー

本製品のコンソールインターフェイスに接続すると、最初 にメインメニューを表示します。



各設定項目は、メインメニューより個別の階層に入り設定 をおこないます。

設定階層は以下のとおりです。

Port Configuration: 各ポートの速度・モードを設定します。

VLAN Group Configuration: VLANに関する設定をおこないます。

Port Mirroring & 802.1p Priority Configuration : ポートミラーリング、及びQoS情報の設定をおこないます。

Power Over Ethernet Configuration: 製品全体に関するPoEの有効・無効を設定します。

Power Port Status : 各ポートの電源給電状況を表示します。

TOS Configuration : TOSに関する設定をおこないます。

Factory Reset: 設定を初期化する際に利用します。

各設定方法に関しましては、階層ごとに説明します。

2. Port Configuration

ここでは各ポートに対する設定方法を説明します。 メインメニューより「Port Configuration」を選択すると以下 の画面を表示します。

Bio-Hype Eie Edit Di≌ ≅ Port Port	eTennial Vew Col Donc > \$ □ 10 10 12 Configurati State	fer Help 7 .on: Speed	FlowCtrl	Port	State	Speed	FlowCtr1	
1 3 5 7 9 11 13 15	<pre> <enabled> <enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></pre>	Auto >	Oisabled Oisabled Oisabled Oisabled Oisabled Oisabled Oisabled Oisabled Oisabled	2 6 10 12 14 16	<pre><enabled> <enabled> <enabl< td=""><td><pre>< Auto > < Auto</pre></td><td><pre><disabled> <disabled> <disab< td=""><td></td></disab<></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></pre></td></enabl<></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></enabled></pre>	<pre>< Auto > < Auto</pre>	<pre><disabled> <disabled> <disab< td=""><td></td></disab<></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></disabled></pre>	
Tab= Ctrl+	Next Item S- Apply	BackSpac Ctrl+R-	e= Previous Refresh	Item	Space= Togg ESC- Main M	le enu	S/₩ Ver.=1.0 H/W Ver1A	 97

Port :

設定をおこなうポート番号を表示します。

State :

ポートの利用許可・拒否を設定します。工場出荷状態では 「Enabled」に設定してあります。利用を拒否する場合は、本 項目内にてスペースキーを入力し、「Disabled」を選択します。 Speed :

ポートの速度を設定します。工場出荷状態では「Auto」に設 定してあります。本項目は以下の数値を選択して設定する ことが可能です。

「Auto」 速度自動認識
 「10H」 速度10Mbps モード半二重固定
 「10F」 速度10Mbps モード全二重固定
 「100H」 速度100Mbps モード半二重固定
 「100F」 速度100Mbps モード全二重固定

速度を固定する場合は、対面接続機器の設定も固定にする必 要があります。速度固定と自動認識を接続した場合は、自動 認識機器側で通信速度までは確認することが可能ですが、 モードが確認できないため、半二重として認識されます。

FrowCtrl :

フロー制御機能の有効・無効を設定します。工場出荷状態 では「Disabled」に設定してあります。

設定完了後に「Ctrl」+「S」を入力し、設定内容を反映させ ます。

3. VLAN Group Configuration

ここではVLANに関する設定方法を説明します。 メインメニューより「VLAN Group Configuration」を選択 すると以下の画面を表示します。

2	00	- Hy	ser Ter	minal												100												
E	je.	Edit	t <u>V</u> ie	нΩ	ol 1	Fransf	er <u>H</u>	b þ																				
ĨC.	1 🖬	2	a 2		0 79	122																						
Ē	_	_		_	_	-													_				_	_			-	1.4
	-																										71	2
	νı	AN	Geo	aun	Cα	ofi.	aue.	atia	on -																			
	Ġr	ou	ρ∖P	ort																								
		01	02	03	-04	-05	86	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16											
	1	٧.																										
	2																											
	3																											
	4																											
	ò.																											
	6																											
	6																											
	å																											
	ň	a																										
	i i																											
	12																											
	13	š -																										
	14																											
	15																											
	16																											
																~						0.0						
	Lê Ci	3D= 1	Ne	кт О	11e	•	Ba	скы	pace	e= 0e	rre	210	JS .	ter	•	2P	ice.		991	e		8/1	X	er.	-16	1	1	
П	с.	πı	-9-	np	μų		61	1+1	÷.	ner.	esi					E.9		ann	we	mu		1/1	-v	er.	-18	1	•	
뷶	~~~	cted	0.092			Lin	deter		loam	8-N-	1	ß	2801		TAPS	NU	M	Sastura		Print ech	10		_				-	12
200		0.000	00023			min	second.		10000	0.14																		

Group:

ポートを所属させるグループを選択します。同一のグルー プに参加しているポート同士が通信をおこなうことが可能 です。単一のポートを複数のグループに参加させることも 可能です。

Port :

ポート番号を表示します。

縦軸のグループ番号と横軸のPort番号の表にて、参加しているポート部分に「V」を表示させます。工場出荷状態時には全てのポートがグループ「1」に参加した状態になっています。

設定完了後に「Ctrl」+「S」を入力して設定を反映させます。

4. Port Mirroring & 802.1p Priority Configuration

ここではポートミラーリング、802.1pプライオリティに関 する設定をおこないます。

メインメニューより「Port Mirroring & 802.1p Priority Configuration」を選択すると以下の画面を表示します。



State :

ポートミラーリング機能の有効・無効を設定します。工場 出荷状態では無効に設定してあります。有効に設定する場 合は「Enabled」を選択します。

本製品では、1ポートで送受信した全てのデータを異なる 1ポートにコピーする方式のポートミラーリング機能に対応しています。

Source :

ポートミラーリング機能で転送するコピー元ポートを設定 します。

Destination Port :

ポートミラーリング機能でデータをコピーするポートを設 定します。このポートに対してパケットアナライザー等を 取り付けます。

Lo-Queue · Hi-Queue :

本製品はQoS情報を2段階で処理することが可能です。デー タに付加されている優先順位情報数値を判断し、どの数値 からLo・Hiとして判断するのかを設定します。双方の入力 画面共に、「スペース」を入力するとLo-Queueの範囲が増 え、選択を続けると一回転し全ての数値がHiに参加します。 工場出荷状態ではLo-Queue<0-3>Hi-Queue<4-7>を設 定してあります。

設定完了後に「Ctrl」+「S」を入力して設定を反映させます。

5. Power Over Ethernet Configuration

ここでは製品のPoE機能を有効・無効に関する設定をおこ ないます。

D ≇ ⊜ 3 ⊫ ≥ Power over Et) 때	-ation		
Device Port	Power Limit: 7 Power Limit: 1	5 W 5 4 W		
Capacito	or Detection: <	Enabled >		
Port	Admin state			
1	<pre> <enabled> <enabled></enabled></enabled></pre>			
3 4 5	<enabled> <enabled> <enabled></enabled></enabled></enabled>			
6 7 8	<enabled> <enabled> <enabled></enabled></enabled></enabled>			
Tab= Next Ite Ctrl+S= Apply	m BackSpace= Ctrl+R= Re	Previous Item Fresh	Space= Toggle ESC- Main Menu	S/W Ver.=1.07 H/W Ver.=1A1
Connected 0.0413	Auto detect 9800 8-1	HI SCROLL CAPS	NUM Capture Print echo	

Device Power Limit:

製品仕様の最大出力電力値を表記しています。全ポート合 計で75W出力に対応しています。

Port Power Limit: 15.4 W

IEEE802.3af規格、電源給電側のポート単位最大電力値を表記しています。1ポート辺りに最大で15.4 Wまで供給できます。

Capacitor Detection:

本製品が採用している、PoE-DIMM装置のコンデンサー検 知モードの有効・無効を選択します。通常は本数値を変更 する必要はありません。

Admin state :

ポート単位のPoE機能の有効 (Enable) / 無効 (Disable) を 設定します。工場出荷状態では有効 (Enable) に設定してあ ります。

設定完了後に「Ctrl」+「S」を入力して設定を反映させます。

Power Port Status

ここでは本製品に接続しているPoE端末の情報を表示します。 メインメニューより「Power Port Status」を選択すると以下 の画面を表示します。

	00 - Hype Je Edit) 😅 🗐	rTerrinal View Coll Itarist 8 3 10 10 10	er Help							_0×
	Power Port	Port Statu Voltage(V)	s Current(mA)	Power(nW)	Status	Cause				
	234567	00.0 00.0 00.0 00.0 00.0 00.0 00.0	0 0 0 0 0 0 0	8 8 8 8	OFF OFF OFF OFF OFF OFF	Under sol Under sol Under sol Under sol Under sol Under sol	ftware ftware ftware ftware ftware ftware ftware	detect detect detect detect detect detect	.on .on .on .on .on .on	
	8	ŎŎ.Ŏ	Ŏ	Ŏ	ÖFF	Under so	ftware	detecti	on	
	Tab= Ctrl+	Next Item S- Apply	BackSpace= Ctrl+R- Ref	Previous I resh	tem Si	pace= Togg SC- Main M	le enu	S/H H/H	Ver.=1 Ver1	.07 A1_
100	nnected 01	04:58 Auto	detect (9600 B-N-	1 SCROLL	GAPS N	UM Gapture	Print echo			

Port :

ポート番号を表示します。

Voltage :

利用中の電圧を(V)表示します。

Current :

利用中の電流を(mA)表示します。

Power :

利用中の電力を(mW)表示します。

Status :

Power over Ethernetでの給電機能の状態を表示します。

Cause :

電源受電要求の種類を表示します。

(給電中は常にLegal PD/resistor detectionを表示します。)

画面は自動更新されませんので、最新の情報を表示する場合 は「Ctrl」+「R」を入力し画面を更新します。

7. TOS Configuration

ここではTOSプライオリティに関する設定をおこないます。 メインメニューより「TOS Configuration」を選択すると以下 の画面を表示します。

'08 Co	nfiguration			
Port	TOS	Mode	TOS vlaue	
1	<t0s></t0s>	<force overwrite<="" td=""><td>> <1></td><td></td></force>	> <1>	
2	<tos></tos>	<tos 802.1<="" overwrite="" td=""><td>p> <2 ></td><td></td></tos>	p> <2 >	
3	<tos></tos>	<802.1p Overwrite TO	Š> <3.>	
4	<disabled></disabled>		> <0>	
	<disabled></disabled>		> <0>	
6	<disabled></disabled>		> <0>	
	<disabled></disabled>		> <0>	
8	<disabled></disabled>		> <0>	
9	<disabled></disabled>		> <0>	
10	<disabled></disabled>		> <0>	
11	<disabled></disabled>		> <0>	
12	<disabled></disabled>		> <0>	
13	<disabled></disabled>		> <0>	
14	<disabled></disabled>		> <0>	
15	<disabled></disabled>		> <0>	
16	<disabled></disabled>		> <0>	

TOS :

TOS機能の有効/無効を設定します。工場出荷状態では無効 (Disable)に設定してあります。

Mode :

TOS機能を有効に設定した際に、どのようにTOSを利用する のかを設定します。設定内容は以下より選択します。

Force Overwrite

受信データに対し次項のTOS vlaueに設定した数値を上書きします。

- TOS Overwrite 802.1p
 受信データのTOS情報(0-7優先順位)をQoS情報として利用し、スイッチ内で優先的に処理を行います。
- 802.1p Overwrite TOS
 受信データにQoS情報が含まれている場合はQoS情報をTOSプライオリティ値に上書きして転送します。

TOS value :

Modeの項目で「Force Overwrite」を選択している状態のときに、上書きする数値を設定します。

設定完了後に「Ctrl」+「S」を入力して設定を反映させます。

Factory Reset :

設定を初期化する際に利用します。 本項目を選択すると以下のメッセージを表示します。

 $\lceil Are \ you \ sure \ you \ want \ to \ proceed \ with \ the \ system \ reboot? (y/n) \rfloor$

設定を初期化する場合は「y」、初期化をしない場合は「n」を 入力します。

付録A

トラブルシューティング

本 製品に接続した機器間の通信ができない場合は以下の点を確 認してください。それでも解決しない場合は、弊社テクニカ ルサポートまでご連絡ください。

- ●機器を接続しているポートのLink/Act LEDが点灯または点滅しているか確認してください。消灯している場合は、本製品と接続した機器との間でリンクが確立していません。この状態では通信はおこなえません。ケーブルの接続を確認してください。
- ●ケーブル不良の可能性があります。正常に通信がおこなえているケーブルと交換してください。
- ●接続しているポートを他のポートに替えてください。
- ●VLAN機能を使用している場合はVLANグループの構成が正しく 行われているか確認してください。VLANグループが構成されて いる場合、同じVLANグループに所属している機器同士のみ通信 が可能となります。
- ●接続先の機器がPoE対応の場合は受電機能が有効になっている か確認してください。また、接続されているPoE対応機器の消 費電力が本製品の最大供給電力(75W)以下か確認してください。

付録B

製品仕様

項目	説明
対応標準	IEEE 802.3 10BASE-T イーサネット
	IEEE 802.3u 100BASE-TX ファストイーサネット
	IEEE 802.3x Flow Control
	IEEE 802.3af Power Over Ethernet
	IEEE 802.1p QoS
データ通信速度	100BASE-TX 100/200Mbps(半二重/全二重)
	10BASE-T 10/20Mbps(半二重/全二重)
ネットワークケーブル	10BASE-T カテゴリ3、4、5ツイストペアケーブル(100m)
	100BASE-TX カテゴリ5ツイストペアケーブル(100m)
ポート数	10/100Mbps、Auto Negotiation、AutoMDI/MDI-X、PoE 対応ポート×8
	10/100Mbps、Auto Negotiation、AutoMDI/MDI-X対応ポート×8
送信方式	ストア&フォワード
バッファ容量	256MByte
フィルタリング	最大8KのMACアドレスを学習可能
アドレステーブル	
パケット転送/	100BASE-TX 各ポート148,800pps
フィルタリング速度	10BASE-T 各ポート14,880pps
AC入力	100-240 VAC、 50/60 Hz
消費電力	最大 150W
動作温度	0~40
動作湿度	35%~85%(結露しないこと)
外形寸法(WxHxD)	324(W) × 45(H) × 231(D)mm
重量	2.8Kg
EMI	VCCI, Class A

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。 弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願 いしております。ユーザー登録をおこなっていただいたお客様には 新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな 情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサ ポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となりま す。ぜひユーザー登録をおこなってくださいますようお願いいたし ます。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付 けております。ユーザー登録をおこなって戴いたお客様の中から毎 月抽選でプレゼントを差し上げております。

http://www.planex.co.jp/user/

弊社へのお問い合わせ

■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。

ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。 〈PCIダイレクト〉

http://direct.planex.co.jp/

■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。 ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

〈ご質問/お見積もりフォーム〉

http://www.planex.co.jp/lan.shtml

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

〈お問い合わせフォーム〉

http://www.planex.co.jp/support/techform/

受付:24時間

〈電話〉

フリーダイヤル : 0120-415977

- 受付:月~金曜日、10~12時、13~17時
- *祝祭日および弊社指定の休業日を除く

<FAX>

- ファクス番号:03-5614-1018
- 受付:24時間

◇お問い合わせ前のお願い

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力お願いいたします。

・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー

- ・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名(Windows XP/Meなど)
- ご利用のネットワークの環境(回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ご質問内容(現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細 を書きとめてください)

■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

プラネックスコミュニケーションズ

http://www.planex.co.jp/

注)上記内容は2003年12月現在の情報です。内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

質問表

技術的なご質問は、この2ページをプリントアウトして必要事項をご記入の上、 下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行 FAX:03-5614-1018

送信日: 年 月 日

会社名	部署名	
名前		
電話	FAX	
E-MAIL	-	

製品名	16ポート10M/100M PoE スイッチングハブ
型番 Product	S-0808P
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② ソフトウェア

ネットワークOS	バージョン
OS	バージョン

3	質問	問P	内容
---	----	----	----

プニウックフコミューケーションブ性学会社	